

## 地域ぐるみで子供の安全確保を

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。最近、学校の行き帰りや学校内に人が入り込んで来て犯罪を犯すという事件が発生しています。そこで開倫塾ではそのようなことがないように、警察本部にお願ひし、2月17日に防犯講習会を行いました。実際に事件を想定して、そのときどう対処したらよいかを、警察の方から教えていただきました。開倫塾の講師、保護者の方々、地域の方々に呼びかけて、一緒に勉強しました。犯罪者に狙われることが多いのは子供なので、できれば地域ぐるみで子供の安全確保をしなければならないという形でお話させていただきます。

私は学生時代に犯罪学を専攻しました。ですから、開倫塾の塾生たちが犯罪に巻き込まれないようにする、少なくとも犯罪者にならないようにするためにはどうしたらよいかと常に考えております。被害者になりやすいタイプの方はずいぶんいらっしゃいます。女子学生で下着が見えそうな服装をしてる方は性的な犯罪にいつ巻き込まれてもおかしくない状況にあります。また、日本では少ないと思いますが、濃いお化粧をしたり肌を露出している人は、外国では「どうぞ襲って下さい」という意思表示だと受け取られるとも言われています。地べたに座り込んでタバコを吸いながら歓談している男女も犯罪に巻き込まれやすい状況です。これらは、被害者になる確率が高い立ち居振る舞いですので、子供達がそうならないように地域社会で教えることが大事だと思います。その一環として、「地域ぐるみで子供の安全確保」という栃木県察本部の安全ニュースを読んでいただければと思います。

犯罪者は、通学路の登下校や一人遊びの機会など、親の目の届かない所で狙っています。そこで、お子さんに繰り返し教えていただきたいことは、人気(ひとけ)の少ないところでは一人で行動しないということです。知っている人でも保護者や身内の了解なくついていけないこと、知らない人と相対するときにはできれば2メートル以上の距離を保つこと、連れて行かれそうになったら大声を出し抵抗して逃げる、危険を感じたら防犯ブザーなどを活用し子供110番の家や近くの民家に逃げ込むこと、それらのことを何度も話して下さい。何かあったら、必ず保護者に話すようにも繰り返しお子さんに教えて下さい。

次のようなことも、保護者や地域の方にお願ひしたいことです。通学路やよく遊ぶ公園などをお子さんと一緒に歩き、実際に確認していただきたいと思います。そして、木立や藪などの死角になりやすいような場所や路地については、具体的にお子さんに注意を促して下さい。また、地域では、知っている子供と挨拶をかわしていただいて、周辺をうろつく不審者がいたら一声かけるなど地域ぐるみで子供の安全に配慮していただければと思います。登下校時のパトロール活動が効果を上げています。通学路や家の周辺で見送りや出迎えをするだけでも警戒になりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

今日は、警察本部の「安全ニュース」を見させていただきまして、地域ぐるみの子供の安全確保するにはどうしたらよいかということをお話させていただきました。